



09・11・14 (土)  
南NEWS NO34

### 南浦和サッカーフェスティバル 4年生大会

11月3日(火・祝) 荒川総合運動公園

## 優勝!!おめでとう!!



みんなで喜びのガッツポーズ

対戦した  
強豪チーム  
過去優勝  
大会優勝  
経験もある  
名門です。  
そこに勝利  
してとても  
素晴らしい  
優勝です。



#### ○チームのめあて

・ワンツウを使う・必ず点を取る・パス&ムーブ  
(11月1日の市民体育大会のめあてと同じ)

南八王子2-1 邑楽 前半1-0 得点者: 吉田君、細川君

対戦相手の邑楽は一人ひとりの個人技がしっかりしていてドリブルがうまく、つないでくる好チーム。前半5分くらいまでは押されっぱなしの展開となりますが、初めてとっていいチャンスをもにします。6分MF吉田君がドリブルでゴール前に侵入したところで相手に倒されFKを得ます。それを吉田君が鮮やかに直接決めて先制。1-0とします。流れもつかみDF三浦君のインターセプトやDF小沢君のカバーリングと奪ったボールの的確なつなぎなどディフェンスラインにもいいプレイが出ます。11分のFW細川君の左サイド突破からのシュートはポストに嫌われ、前半1点リードのまま終了。

後半4分再びゴール前で獲得したFKを今度はMF加藤君が細川君に合わせ、ひざで押し込み追加点を奪います。終了直前の15分に1点返されましたが、2-1で初戦勝利です。

南八王子3-0 油面 前半2-0 得点者: 荻沢君2点、吉田君

この試合は先発と交代のメンバー、システムを子供たちで決めました。意外に見えたのはスーパーに普段FWの林君が入ったことです。試合は開始2分相手ボールをすばらしいチェックでカットしたMF荻沢君がそのままシュートまで持ち込みゴール。1-0と先制します。7分MF小沢君のドリブル突破からのシュートはGKにキャッチされますが、10分DF細川君からのパスをハーフラインで受けた荻沢君がスピードに乗ったドリブルで相手選手を一人二人とかわし、最後にはGKも抜いてのファインゴール!!追加点を奪います。ディフェンスでもいいところが見られます。DF同士でよくコミュニケーションをとってマークの受け渡しを細川君と三浦君で行っているなど成長を感じる場面です。

後半開始直後に中央突破したMF加藤君から右に併走したFW吉田君にスルーパス。ボールを受けた吉田君は縦に行くふりをして中に切り返してシュート。ゴールが決まり3-0とします。反撃を受けた場面はGK末吉君が至近距離からのシュートをナイスセーブし事なきを得ます。ここから終了まで攻め続けます。めあてのワンツウを細川君と荻沢君で、更にMF牛窪君と細川君できれいに決めてチャンスを作ります。荻沢君のハットトリックかと思われたシュートがポストに当たるなど残念ながら得点を追加することはできませんでした。DFに入った林君は持ち前の俊足を活かしたカバーリングで守備の安定に貢献しました。3-0の勝ちで2連勝です。

南八王子1-0 中北 前半0-0 得点者: 加藤君

相手チームは2勝1敗でまだ優勝の可能性があり、気迫を前面に出してきます。この試合も子供たちで相談して決めたオーダーで臨みましたが、少しFW希望が多くDFは初の組み合わせです。

前半10分くらいまでは相手チームの前へ前への姿勢に押し込まれます。それをみんなで粘り強く耐えると10分11分に続けてセットプレーからFW牛窪君のヘディングシュートなどチャンスをつかむようになります。前半は両チーム無得点で終了。

後半も押し込まれる展開になりますが、ディフェンスはボールを奪うと落ち着いて攻めにつなげるようになります。DF井上君はボールカットから効果的なサイドチェンジのパスを出し、三浦君はパスカットするとFW吉田君へスルーパスを送ります。10分このスルーパスからの攻めでコーナーを得ます。吉田君の蹴ったコーナーキックは中で跳ね返されますが、ペナルティエリアの外で拾ったMF加藤君がワントラップシュート。ゴール枠内の上に向かっていくボールをGKが触りますが、ゴールに吸い込まれ待望の1点を奪います。これを最後まで守りきり、厳しい試合に勝利して優勝に大手をかけた。



南八王子5-1 南浦和 前半3-1 得点者: 荻沢君2点、加藤君、吉田君、細川君

3連勝していますが、第一試合で対戦した邑楽が3勝1敗のため、優勝には引き分け以上が必要な状況です。勝利を目指そうと声を掛け合い試合に入ります。

前半2分FW林君から左サイドでフリーになっていたMF荻沢君へパスが通り、これを落ち着いて決めて早速1点を奪います。圧倒的に攻め続け12分に追加点をまたも荻沢君が奪います。今度もうまくゴール前でフリーになってしっかりとクロスを押し込みました。13分に一瞬の隙をつかれ1点を返されますが、その1分後相手ボールをハーフラインでカットしたMF加藤君が一人二人と抜いて最後GKが飛び出してきた脇を通すシュートを決め3-1と再び突き放します。

後半開始直後FW吉田君の速いドリブルを相手選手はとめることができず、PKとなります。このPKを吉田君が自分で決めて4-1。3分には相手ゴールキックを拾ったFW細川君が決めて5-1と勝利を決定的にします。残りわずかですが終了というところで続けて攻め込まれます。みんなイケイケでディフェンスがおそろかになったところでピンチとなり、15分にはスルーパスから相手FWがぬけだしてGK末吉君が1対1に。このピンチを末吉君が前に出て体を張って防ぎ、こぼれてゴールを割りそうなボールをDF加藤君がライン上でクリア。追加点を与えずに好プレイで勝利に花を添えました。

勝ちましたが攻撃については雑な攻めが目立ちました。得点以外にもGKと1対1の場面が何度もあり、しっかり決めなければいけません。また、油面戦で見たようなワンツウを交えた多彩な攻めもなく、物足りない気持ちもあります。もっとアイデア豊富なサッカーをしましょう。

11月1日の市民体育大会で2試合連続の逆転勝ちの勢いそのまま4連勝で見事優勝です。この学年は1年生以来の優勝となり、みんな大変喜んでいました。少年サッカーは勝つことだけを求めるものでは決してありません。子供たちが1試合ごとに自信を持っていく様子や試合後のみんなの喜ぶ姿を見ていると勝つってやっぱり大事なものと改めて感じた浦和遠征でした。なお、最優秀選手賞に4得点の荻沢君が、優秀選手賞にナイスセーブで締めた末吉君がそれぞれ選ばれました。おめでとう!

by Bクラスの加藤コーチ